

令和4年度の業務運営等への反映状況

令和3年度業務実績評価		令和4年度の業務運営等への反映状況
評価項目	評価結果	
第6-1-(1) 外部資金等自己 収入の確保	B	<p>○科研費の獲得に向け、最新の研究動向や研究計画調書（以下「調書」という。）作成のノウハウに焦点を当てた外部講師による科研費勉強会（オンライン）の開催に加えて、調書の添削指導を実施し、全学的な申請支援体制の充実を図った。また、過去に科研費を獲得した研究課題の研究計画書閲覧制度を実施し、資料共有による支援も推進した。</p> <p>【調査の添削指導実績（新規）】R4年度12人</p> <p>【科研費申請・採択の実績】</p> <p>申請：R3年度15件 ⇒ R4年度25件 ※数値目標10件以上</p> <p>採択：R3年度 2件 ⇒ R4年度 2件 ※ " 3件以上</p>
第6-3-(1) 施設および知的 財産の有効活用	B	<p>○令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、体育館等の施設の有償貸付を見送った。</p>
第8-4-(1) 人権の尊重	B	<p>○ハラスメント防止に関する意識改革のため、研修の開催および人権啓発小冊子の学内配置により意識啓発活動を行ったほか、ハラスメント防止等を図るため、令和5年度から研究室の扉を窓付の扉に交換することとした。</p> <p>【研修会の開催実績】R3年度2回 ⇒ R4年度2回</p> <p>○相談体制等の充実を図るため、ハラスメント事案に精通した弁護士を講師に迎え、相談員・調査員・ハラスメント委員を対象に、その役割や傾聴の技法を中心とした研修を開催した。</p> <p>【研修会の開催実績】R3年度1回 ⇒ R4年度1回</p>